

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	本年1月より、小規模・GHの家族など全員に、運営推進会議の参加をお願いしている。又、近隣社協様や学校・保育園様等にも広報誌をお届けして、事業所の取り組みを、より多くの方に知らせて頂くよう、お願いしています。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	昨年末より、GHの方や、小規模通い・泊まりの利用者を訪ねてのお客様が多くなり、最近では1日3～5組の来客もある。職員へ、初めての方でも、明るく丁寧な対応を指導し、実施することで、再度来て頂くことができている。今後も多くの方に立ち寄り頂けるように、対応など努めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	ご家族が、近隣の開業医様との連携をして頂く等して頂いています。本年より、利用者への地域社協主宰の「すこやか学級」参加支援を開始。又、管理者を中心に、「すこやか学級ボランティア」としての取り組みも行っている。チャレンジ体験に来てくれる中学校や、小学校運動会への見学参加等も行っていく予定。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	本年度は、出来ることでの地域貢献として「認知症サポーター研修」開催を行う予定です。又、上記「すこやか学級ボランティア」を行うことで、少しでも多くの方のご相談等の支援に努めていきたい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	平成20年7月に開所し、今回、初めての受審となる。そこでの結果を、サービス向上へとつなげていきたい。この自己評価も、職員の意見や、ご家族のお話等をまとめており、ありのままの姿を見て頂けるように努めている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区社協会長様、担当包括の職員様、小規模・GHのご家族やご本人等多くの方に参加して頂き、2ヶ月に1回開催され、サービスの報告やご意見をもとに議事録作成し、参加者様・ご家族様に配布や、職員に開示し、サービス向上へとつながるよう取り組んでいる。	○	ご多忙ではありますが、ご家族様等全員へご参加を促すことで、ありのままの事業所を知って頂き、サービス向上へとつなげていく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月、行政区介護保険課主催で実施の、事業者連絡会に出席することや、諸事につけ行政区介護保険課へ報告等のため顔を出すことで、タイムリーな相談・報告・情報収集が行えるように努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人内職員からの指導や、事業所管理者が、実父の成年後見人を行った経験も踏まえ、事業所内研修を実施。現在、小規模利用の方で、1名権利擁護の申請中。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記項目と共に、管理者等による事業所内研修の実施、又、職員が外部で行われる研修に参加し、事業所でSVすることを実施している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約書の事項を説明する事で、ご理解頂けている。又、不明な事等は、随時訊ねて頂くようにしており、お電話や来訪時にお話しすることで、ご理解して頂けていると思います。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	サービス開始前・契約時、契約書の事項を説明する事とともに、ご苦情に関しては、特に時間をかけ説明しています。些細な事でも、管理者・職員に話して頂くようお願いし、もしおしかり等あれば謝罪・改善はもちろん、推進会議で公表も行っていきます。	○	開設後、ご苦情等は2～3件ありました。左記会議への報告、職員一人ずつに文章で周知・改善策等を配布し、徹底指導取り組みを行っており、成果が認められています。継続していききたいと考えています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月初に、利用時の暮らしぶり等をお手紙にし、広報誌といっしょにお渡ししか郵送しています。計画作成担当者を中心に、支援内容等をモニタリングし、サービス質向上へ努めている。	○	小規模で勤務のナースがおり、GHのご利用者の健康管理も行っている。ナースを中心に、本人・家族とも、かかりつけ医への受診状況等も常にお話し、他職員へ指導を行っている。又、管理者が、預かり金管理をしており、信頼され安心して頂いている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	13項と同じく、契約時に契約書の事項を説明する事とともに、ご苦情に関しては、特に時間をかけ説明し、些細な事でも、管理者・職員に話して頂くようお願いし、もしおしかり等あれば謝罪・改善へ、迅速な対応を心掛け実行しています。又、基本として、苦情等マニュアルがあり、職員への指導の基礎となっている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	開設時より、月1回全職員対象・職員会議を行っている。又、個人面談を年2回行い、個々人や多くの意見が取り入れられるようにしている。管理者として、職員との話し合いは常に行えるよう心がけている。	○	GHサービス計画書作成時等、日々職員とカンファレンス・ディスカッションし、よりニーズに沿ったプラン作成、サービス実行となるよう努めており、継続していききたいと考えています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	GHでの必要な人員を確保し、日勤・早出・遅出等も支障なく行っている。諸事で人員が必要時には、小規模職員とも連携を行う事で、手厚いケアで、常に利用者へ安心感を与えられるように努めている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設して1年、GH計画作成担当者が、法人内で移動。又、正職員1名が、家庭の事情により退職となる。それ以外は、小規模勤務と両方を行い、利用者は、常に馴染みの職員と過ごせるように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者が法人責任者と相談し、年間研修計画を作成する。それに伴い、サービス・ケアの質向上支援を行っている。又、ケアマネ・介護福祉士等ライセンス取得に対して、法人内で手厚い支援体制もあり、制度利用が円滑に行われるようになっている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月、行政区事業所連絡会参加を実施し、交流を行っている。又、他事業者等との交互訪問等随時行う事や、法人内他事業所間での話し合い・見学等も行い、サービス状況の把握や質向上となるよう取り組んでいる。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	16項に準ずるが、管理者が常に職員と話せる関係を第1としており、些細な事でもストレス軽減できるような環境である。又、管理者も法人責任者と、常に話し合いを行い、問題等があれば早期に解決できている。	○ 職員とは、メールで報告や相談もあり、常にコミュニケーションがとれるような関係を作っている。法人内他部署との連携も日々行っており、事務手続き等多義にわたりバックアップされていますが、連絡方法等、創意工夫をすすめていきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者が、職員会議や面接等を通し、職員のモチベーションアップとなるように努めている。又、参加可能なら、研修等も資料を掲示する等し、公平を第1としている。法人内責任者とも、常に話し合うなかで、個々人の勤務状態が、より公平で正確な判断ができるよう取り組んでいる。	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時、本人・家族よりの話を、先ず傾聴することに時間をかけています。アセスメント作業の為に、管理者(ケアマネ兼務)・職員が、本人等と数回会い、話合います。又、GH入居後、約1ヶ月後からセンター方式作成をすすめることで、事業所として、ニーズが共有できるような体制としています。	○ 初期情報からニーズを把握しても、入居後日々変化されることも多い。本人・家族より出来るだけ多くのお話を聞く事等で、その時に大切な意向を感じれるようにしています。ご家族の面会は、時間の制限等作っていません。又、お電話も24時間お受けし、常にお話ができる体制としています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	同上。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人・家族よりの話を傾聴することに時間をかけており、事前情報等とあわせて、的確な「ニーズ」把握を心掛けている。管理者・他職員がいっしょに面接する事で、一人では気がつかない事でも、少しでも感じ取れるようにしている。又、事業所以外に必要な支援はないか等も検討し、提案している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に、事業所の見学をすすめ、可能であればお部屋の中にも入ってもらっている。その後、ご本人の入居の意思を確認してから、ご契約等を行っている。又、上記で述べているが、管理者・他職員がいっしょに面接する事とし、利用時に職員と少しでも面識があるような状態に努めている。	○	入居後も、可能であればご家族に面会して頂く、又、外出を行って頂くことも支援し、家族関係を大切にする調整役も行えるように考え、職員全員で取り組んでいます。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用者の尊厳を第1としている。お話等で、昔の事や人生経験を多く聞くことで、馴染みの関係が深くなっていきます。又、そのなかから、「料理」等手続き記憶にも働きかけることができ、暖かな関係が生まれています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの相談等を受けることが、とても多い状況です。管理者のみならず他職員にも、ちょっとした変化等を相談されたり、報告されます。事業所としても、なんでも話されることで、信頼されていることが良くわかります。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	事前情報、本人・ご家族からのお話、センター方式作成等で、ご家族様との関係等把握に努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	事前情報、本人・ご家族からのお話、センター方式作成等で、本人の生活史等を知ることで、対人関係や嗜好品等把握をし、支援に活かしている。身の回りの物も、できるだけ今まで使われているものをお願いし、安心して過ごして頂けるようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が、利用者との間に入り、おはなし等、利用者間の関係が、馴染みとなるよう心がけている。話題も、季節や食べ物等、共感できることを心がけ、多くの方が、いっしょに過ごせるようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	登録・利用終了後も、広報誌を郵送している。又、事業所でのイベント等も参加を依頼する等している。お家の近くに行った際は、立ち寄る事も多くあり、別の方の利用依頼も良くある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・ご家族から、生活史や環境等把握を行っている。利用時のケア情報を含めて情報収集し、職員間やご家族との話し合いを行う事で、「今何が必要か、希望されているか。」意向把握を行っている。又、ニーズも変化」しており、必要時モニタリングを欠かさず実施して、意向の変化把握に努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	上記情報収集と合わせて、起床時間にも考慮したサービス提供等、個別に合わせての支援に取り組んでいる。又、今までのサービス利用状況等を、家族や関係者から情報収集し、お好きなレクや作業・趣味の把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	高齢の為、体調・ADL・認知面等変化も多く、日々の状態把握等が大切である。随時、事業内やご家族を含めた話し合いを行い、もてる力を大切にしたお世話が出来るようにしている。	○	利用者の主治医との連携がとても上手く連携出来ており、身体状況等、常にかかりつけ医よりの確な指示をいただいている。今後、地域の社会資源(リハビリ関係者等)とも、より円滑に連携できるような関係作りにチャレンジしていきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当ケアマネとして、定期的なモニタリングを行い、サービスの実施状況等把握を行っている。話し合いでの結果を、常にプランに反映して、ケア実施を促している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアマネ作成プランを基本とし、ケアスタッフがケア支援計画を作成し、実際のケアを行っている。3ヶ月毎に見直しを行っているが、身体状況変化等みられれば、職員間・ご家族等と随時話し合いを行い、その結果を、プランに反映して、ケア実施を行っている。	○	ケア方法等変更あれば、申しおくりや、カンファレンス表・連絡ノート・管理日誌に記載し、全職員への情報開示を行っている。タイムロスがなくタイムリーな支援を目指し、実施に取り組んでいく。

ケアサポートセンター宝ヶ池

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録への工夫として、個別情報や個別プラン・個別の申し送りや家族情報等をまとめ、事業所内で情報の共有が円滑に行えるようにしている。	○	記録用紙で、日々の変化等が容易に把握できるようになっており、必要時職員間・ご家族等と随時話し合いを行い、その結果を、プランに反映している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員会議やモニタリング等を行い、随時意向に沿ったサービス内容となるよう、見直し等行い提供している。又、ご家族が事業所で利用者といっしょに食事される事も多く、家族と他利用者が仲良く話しながら、過ごされる事もとても多いです。	○	地域の開業医とも連携し、必要であれば紹介等行える関係作りを行っている。今後も、小規模併設事業所として、関係機関との連携を行えるようにしていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本年度より、利用者への地域社協主宰の「すこやか学級」参加支援を開始。又、管理者を中心に、「すこやか学級ボランティア」としての取り組みも行っている。チャレンジ体験としての中学生も、開所後半年で受け入れしている。	○	看護学校実習生の受け入れや、行政区の市民ボランティア受け入れも検討し、一部実施開始している。より、多くの方が集まって頂けるような事業所を目指す。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	法人内事業所や、圏域事業者等とは、密に連絡取り合い、必要なサービスを検討等している。行政区事業所連絡会で、他サービスとの連携等、Drやケアマネ同士が話し合えることが多くあり、大変役立っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	圏域内に包括支援センターが2つあり、それぞれと密に連携している。又、必要時隣接学区の包括支援センターとも連絡をとり合っている。随時、相談事等必要な支援を行えるように協働している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	バイタル測定等随時行い、必要時家族へ連絡し、かかりつけ医への受診を促している。又、事業所での資料等、情報提供も行っている。又、小規模・GHとも往診されるDrが数名おられ、随時診察が必要な方にも、Drが動いて頂く事が可能となり、大変助かっています。	○	高齢者にとって、かかりつけ医等の医療は欠かせないものです。事業所がDrへの窓口となる事も含め、Drが、こちらへの指導研修を行う事等の関係調整を随時進めて、ケアにいかしていきたい。

ケアサポートセンター宝ヶ池

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>法人本体が、精神科HPとして、長年にわたり認知症への治療に関わってきた。多くの症例を診てきたDrがおられ、事業所へも、ご利用者の主治医になられている関係である。その為、事業所としてのご相談等随時実施でき、又、Drからの指導も頂いている。</p>	○	<p>行政区には、左記の法人Dr以外にも、認知症診療にたけたDrが、数名おられる。その方々と、患者様のご相談等随時行え、又、ご指導も頂いている。今後も、協力関係が続けられるように、連携していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>小規模・GH併設事業所で、小規模にナースが勤務しており、日々事業所利用者の体調把握等に携わっている。又、GHで、法人内訪看STと医療連携を行っており、小規模所属ナースとも密に連携している。かかりつけ医への報告や、小規模で自宅に訪看が来られている方もおり、日常的に情報交換等実施している。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>ご利用者が入院等ある場合、可能であれば本人・家族と面会を行い、身体状態の把握を行っている。治療の予定等、本人・家族とともに、Drや医療連携室と、管理者・介護職員が話し合いを重ねている。サービスの再開や、それに伴い、必要な支援の変更も、随時行うような体制をとっている。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>小規模多機能では、終末期等のケアに向けては対応等できていない。今後、自宅でターミナルを希望される方等について、小規模事業所として出来る対応を検討していく必要がある。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>同上。</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>自宅変更や施設入所には、申請等を含め、本人・家族と時間をかけ話し合い、意向に添って対応を行っている。</p>	○	<p>施設入所等、急な決定が多く、本人・家族も十分な気持ちの切り替えができない事も多い。管理者が施設まで同行し、家族との話し合いに参加する等し、不安の解消に努めている。サービス終了後も、タイミングを見て、面会を行う等している。人と人との関わりを大切にしていきたい。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご利用者の尊厳を第1としており、視線を合わせ丁寧な言葉かけ等、当たり前と思われる対応を行っている。記録に関しても、他者に見せない等の当り前の対応を徹底し指導し、実践している。事業所内で、ご利用者の写真刑事等は、事前に了承をとっている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	認知症の状態等に関わらず、まず時間をかけ十分に説明やお話をする事を、職員全員で実施している。「どうしたいか。」と聞く事により、その方の思いを聞かせて頂き、日々の暮らしが変わり喜ばれる事で、こちらが感動を得る事が大変多いです。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	開設当初から、出来る限り利用者のニーズに合わせ、ケアを組み立てている。外出・買物・趣味の実施等多義にわたるが、職員の努力により成り立っている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣類は季節に合わすよう家族にも働きかけ、用意を心掛けています。美容院は、ご家族の紹介で近くのお店の方が来て頂ける事となり、多くの利用者が主にカットを利用希望され、喜んで頂いています。又、ご家族が定期的に理美容にお連れされる方も多いです。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食の嗜好や旬の食材等心配りし食事を提供している。メニューは、職員が考え、作成している。小規模・GHで同じものを食べて頂いており、食材購入から近くのスーパースーパーに、ご利用者と歩いて買いに行く事で、目で楽しみ旬を味わって頂いている。	○ 事業所では、食事準備になると決まって手伝いをして下さる方ができており、後片付けを含めご利用者と楽しんで行っている。日常動作を行う事で、可動域等ADL向上も見られており、継続支援していく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	小規模・GHとも、喫煙は、喫煙場所では可としている。飲酒希望者はおられないが、希望者がおられれば、検討していく予定。おやつも含め可能な事は、預かり金での購入・保管等まで対応している。	○ お茶が好きな方が、ご自分の部屋でお茶が飲みたい等の要望があった。ポット等で事故がないように、よく見守る事を継続し、楽しんで頂いている。出来ないと考える前に、どうすれば支援できるかを考えています。

ケアサポートセンター宝ヶ池

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄状況等よく観察し、トイレ誘導等行っている。事業所利用後、おむつが必要なくなる方もみられている。	○	トイレは、日中・夜間を通し、常に清潔を心がけている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、原則毎日でも対応している。個浴であり、お湯も一人ずつの交換を行っている。希望者には、同性介助を行っている。夜間入浴に関しては、職員の人員等、可能であれば実施している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	GHの方は、日中適度な体操・散歩や、家事を行って頂く事等で、ほど良い疲労感から早く休まれる方が多いです。夜間も、良く休まれます。	○	生活のリズムを大切に考え、サービス計画等の支援を行っています。対内リズムを持たれると、生活にハリが出て、お元気な状態を見せて頂く事ができます。生活習慣を含めた、その方に快適な支援を行い、安眠へとつなげていきたいです。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	小規模・GHとも、食事準備になると決まって手伝いをして下さる料理好きの方が、後片付けを含め一生懸命お手伝いされています。お花をいけたり、ご自分の盆栽の手入れ、又、ご自分のお部屋の掃除や、洗濯ものを干したりしまったり等、皆さんご自分からお手伝いして頂いています。又、童謡等の歌や、編み物も随時楽しまれています。	○	生け花によるフラワーセラピー教室を、週1回行っています。地区福祉センターよりの作業ボランティアも、定期的に来られており、大変喜ばれています。今後もボランティア支援の受け入れ等を検討し、実施していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	GHで、金銭管理が行える方は、ご自分で管理して頂いている。職員と一緒に買い物に行かれる等しています。事業所管理を行っている方もおられ、必要な買い物等をいっしょに行っている。金銭管理も行い、ご家族等に随時明細書を提出している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々、出来るだけ散歩等支援を行っています。買い物は、近くのスーパーに歩いて行き、喫茶店や公園にも良く出かけます。5分10分でも可能でご利用者が望まれるなら、職員同行しています。	○	散歩等で、ご近所の方がご利用者を覚えて頂き、気さくに挨拶して下さいます。又、お一人が表道路まで出られたときも、ご近所の方が気づき、事なきをえました。地域の方とも交流できる事は、大変素晴らしいことであり、出来る限り支援していきます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	プラン作成前意向確認し、外出や可能な要望は対応しています。あまり時間が取れない事が多い為、他府県等遠くには行けていません。	○	今後は、外出レクの充実を行いたい。事業所周辺には、大きな寺社が多く、季節により見どころ等も変化しており、楽しんで頂ける事等検討していきたい。

ケアサポートセンター宝ヶ池

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご契約時、ご利用者が電話をかけたいと希望時に、家族に電話して良いかを確認し、お電話をかけさせて頂いています。手紙を出す等を随時希望される方もおられ、その都度対応している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族は、いつでも来て頂けるようになっています。又、知人の方も、ご家族の了承があれば、随時来所されています。いずれも、お茶や場所の提供等、さりげないもてなしができるように、こころがけています。	○	ご希望があれば、事業所でいっしょに食事もして頂く等できるようにしています。食材が不足なくとも、職員が配慮をするなどし、食事を楽しんで頂けるように、職員皆で対応に努めています。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設後、身体拘束は行っていない。契約時に、身体拘束については、必要な状態を含めて、十分に時間をかけ説明を行っている。事業所としては、手厚い人員も確保できており、今後も拘束しないケアを継続していきます。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	徘徊傾向の方もおられるが、夜間の戸じまり以外は施錠は行っていない。この事は、職員への指導を徹底している。	○	ケアの基本として、普通の生活を送って頂けることを大切にしており、鍵をかけることは、普通とは言えない。今後もこの方針で、生活支援を継続していく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	高齢の為、各動作時にも急なふらつきがある等、体調・ADL・認知面等変化も多く、日々の状態把握等が大切である。夜間や排泄時にトイレに行かれるときにも、見まもり・観察もさりげなく行えるようにしている。排泄時の支援等が、必要時、自然と受け入れて頂けるような関係を大切にしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	日常生活で、ハサミ等の刃物は、保管場所を決めている。事業所でも、同じような対応を行っており、使用後の所在確認等は欠かさず行っている。	○	管理者が中心となり、危険リスクのある物品の、定期的な所在確認を行っている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	外部研修として、事故や各リスクマネジメント等には多く参加している。又、事業所内でも管理者を中心に研修や話し合いを随時行っている。	○	ADL・認知面等のリスクへも、状態にあった対応が必要である。職員間での日常的な話し合いを常に行う事で、対応の変更等につなげている。又、その情報共有として、申し送りや、連絡ノート・管理日誌等に記載等し、事故防止に努めていきます。

ケアサポートセンター宝ヶ池

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>火災時に、法人関係者への自動的な連絡システムも設置されている。今後は、地域の消防団との連携等も行っていき、より安全に努めていく。</p>
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	○	<p>高齢者の体調変化については、特に気をつけています。職員間で、「いつもと何か違う。」と気づけるように、随時指導も行っている。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		

ケアサポートセンター宝ヶ池

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎回記録している。水分摂取について、把握が必要な方に対しては、細かな記録を残し、情報提供等を行っている。食事カロリー等、ナースや職員が検討し、個人で米飯量計量も行っている。	○	ご利用者の嗜好等取り入れ、メニューを考案している。麺類が嫌いな方は別のものを提供する等の対応も行っている。今後も、サービス向上に努めていく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルがあり、対応等行っている。事業所への出勤時等、手洗い・うがいは必ず実施している。ご家族との連携等で、予防摂取も実施はできているが、管理者が、日々の取り組み継続等指導も継続していく。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒等についてマニュアルがあり、対応している。除菌等の調理器具管理についても、日々取り組んでいる。食材購入にも、新鮮な食材を毎日購入する事を徹底している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	事業所建設にあたり、バリアフリー等、ご利用者への配慮をできるだけ行っている。事業所が住宅のような外観であり、周辺とも溶け込んだ状態と皆さんに言って頂いており、玄関からの出入りもしやすい雰囲気と言って頂いています。	○	玄関周りに、ご利用者・職員がお花を育てたりし、明るい環境になっています。又、利用者がお世話されている盆栽等も置かれ、より一層暖かな情景となっていますし、人を迎入れる雰囲気作りとしても、大切な要因となっています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	切り絵や写真の飾り付けをしている。ご家族や職員が季節等を取り入れ行っています。ご家族手作りの作品も多く、本当に季節感があふれています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブルセッティング等で、馴染みの方とお話等してゆっくり過ごして頂く心がけている。		

ケアサポートセンター宝ヶ池

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	1ユニット・9部屋ある。ベット・寝具は個々人でご用意されている。又、家具等、出来るだけ使い慣れたものをご用意して頂くよう、お願いしている。写真や絵等も、お好きな風景画等や家族の写真を持参されている。	○	お部屋は畳で、壁紙も和風である。飾り付け等は、本人・家族に、いっしょに楽しんで行って頂いている。ご自分の作品を職員に見せて頂く事等多くあり、職員が作品作りの指導を受ける事もある。ゆっくり過ごせる場所をご提供できるよう、努力していきます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気・温度管理は常に気を付けている。空調等、設備も充実しているが、使用等職員がこまめに点検し、高齢者が過ごされる環境を支援している。	○	加湿器を、共用リビングや各お部屋に設置・管理する等し、保湿対応もこまめに行っている。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり・バリアフリー環境等を備えている。洗面台・流し台等も、高齢者仕様を備えており、生活が高齢者中心となっています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	何かを行う時も、まずゆっくり説明することから始めます。不安であられる時も、お話を繰り返し、安心してもらう事を続けています。その中で、ご自分で行える事があれば、職員と一緒に喜び、一緒に楽しんでいます。そのような状況では、できることが増えられ、こちらも大変学ぶことが多いです。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りに、ご利用者・職員がお花を育てたりし、明るい環境となっており、人を迎入れる雰囲気作りも大切にしています。外部も植木等緑も多く、ご利用者が希望され、職員と手入れをして頂いています。	○	今後も、野菜を育てたり色々計画しています。ご利用者・ご家族・職員がともに楽しめるようにしていきたいです。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「大きな家のように、普通の生活を支援する。」事を基本とし、ご利用者も、建物から自由に入出りできる環境を作っています。